

短期

現地で学ぶ初修語セミナー

B-3

トゥールーズ大学 ジャン・ジョレス校

フランス

トゥールーズ

参加費用
(目安)

49～59 万円

本学支援金

約18万2千円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は31ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2026年2月7日(土)～3月3日(火) 25日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ ホームステイでフランス語力UP!
- ▶ 日本語を学ぶ現地学生との交流あり!
- ▶ トゥールーズ周辺のフィールドトリップ!

都市・大学紹介

都市	トゥールーズはオート＝ガロンヌ県北部に位置し、独特の建築的外観を持つ建物が多いことから、別名「バラ色の都市」(la ville rose)と呼ばれる。 トゥールーズ大学を中心とする学園都市。
大学	1229年設立。特に文学関係に著名な研究者が多く、言語学、外国語教育においてフランス有数の国立大学。 1985年に日本語学科が設置され、日本に対する関心も高い。

スケジュール

出発 フランス・トゥールーズへ(乗り継ぎあり)
【航空会社】トルコ航空

滞在中

- ・ フランス語講義
- ・ トゥールーズツアー
- ・ 大学施設を使っでの自学自習
- ・ フィールドトリップ (Occitania)
- ・ フランス語学力テスト (TCF)
- ・ Farewellパーティー

帰国 日本へ(乗り継ぎあり)

形態	カスタム型(本学独自のプログラム)	人数	12～24名 ※書類選考にて参加者を決定
滞在	ホームステイ(2～3名/1家庭)	単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
食事	平日2食・週末3食・学食ランチチケット(平日3週間分)		
要件	語学要件：なし(語学カスコアは任意提出) ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：ETIAS(電子渡航認証)の取得が必要になる可能性有 パスポート有効期限：シェンゲン圏出国+3か月		

その他

【全学副専攻科目としての単位取得について】

※対象：国際関係、文、産業社会、経済、各学部所属にてフランス語コミュニケーションコース履修者のみ

通常授与される単位科目に読み替えて、派遣先での研修言語に該当する語種の副専攻科目として単位授与できる場合があります。(通常授与の単位科目は募集要項より確認)応募前に所属学部事務室へ副専攻科目として単位の授与を受けられるかを確認してください。

プログラムの特徴

- 語学学習と国際的視野を養う、海外留学の入門プログラムです。社会・文化・政治・経済・歴史事情を軸とする講義をフランス語で受講し、フランスに対する理解を深めます。
- 文法を学びながら会話やリスニング力も高めていきます。フランスでの生活やトゥールーズ近郊のフィールドトリップ等を通じて異文化を体験し学びます。講義・フィールドトリップなどを通して、日本語を学習している現地学生(チューター)とともに行動しますので、現地学生との交流を深める機会が多くあります。フィールドトリップはオクシタニー地方を予定しています。最終週には、TCF(フランス語学力テスト)を受験します。

コース検討参考



◀ 参考資料



◀ プログラム HP

